

宮古港にサンマ船初入港

(大船渡市の水産会社所有船)

平成24年8月12日(日)にケーソン据付が完了し、静穏海域が戻りつつある宮古港鍬ヶ崎地区の岸壁(-7.3m)に、8月23日(木)この秋はじめとなるサンマ船が入港しました。水揚げされたサンマは、宮古魚市場前から各方面に出荷され食卓へ届く日も近い。

本地区も震災により多くの施設が被害を受け、現在も復旧工事が進められているところですが、地元関係者から「お盆前までに出崎防波堤のケーソン設置を完了して欲しい」との要望もうけ施工を進めていたところであった。

港湾工事の完了に伴い、港の施設利用者に役立ち、港が活気づき、ひいては、地域産業の復興につながっていくことが期待されるところである。



据付が完了した出崎防波堤



静穏海域が戻りつつある鍬ヶ崎地区



岸壁に接岸中のサンマ船



水揚げされたサンマ

お問い合わせは
国土交通省 東北地方整備局
釜石港湾事務所 企画調整課まで
Tel 0193-22-9118 / Mailto info-kamaishi@pa.thr.mlit.go.jp